

2019
6



コレクション展Ⅰ「境界のむこう」関連こどものイベント 「ヒゲンジツを作れるか？」

■開催日時：2019年6月15日（土）
13:30～15:30

■参加者：23名

■対象：小学生～高校生

■参加費：100円

■場所：アトリエ2、常設展示室

■材料：不要になった印刷物(雑誌・チラシなど)、
画用紙、のり、水性ペン、色鉛筆

■概要

「境界のむこう」第6章「現実/非現実」を鑑賞しながら、ギャラリートークに挑戦。その後、鑑賞を踏まえて、身近な印刷物をコラージュし、自分だけの「ヒゲンジツ」世界を表現しました。

■ギャラリートーク

松井正《タスコ》の前で、展覧会を企画・担当した橋本学芸員がファシリテーターとなり、ギャラリートークを行いました。ギャラリートーク初体験という参加者も、「なにが見えるかな？」という展覧会担当者の橋本学芸員の問いかけに、「イヌが飛んで」「あれは教会？」「月が変！」など、積極的に発言してくれました。中には具体的に想像を膨らませて、「教会があって、女の人が白いドレスを着てるから結婚式やと思う。」と、なかなか説得力のある推理を披露してくれた参加者も。

■参加者の感想

- ・いろいろな作品があって想像力を働かされました。
- ・雑誌を切るのはふだん家でできないことなので、楽しかったです。非現実の世界は誰も見たことのない世界なので、自由に作れました。

■保護者より

- ・ギャラリートークで子どもの意見を聞いたことは面白かったです。今後作品の見方が変わりそう！
- ・普段家や学校ではなかなかできない内容なので、親子共々楽しく参加することができました。

■制作1

今回の企画は、現実世界を切り取ってコラージュし、非現実の世界を表現しようというもの。右の写真は、素材となる印刷物。当館職員と近隣施設のご協力により、机2つを埋め尽くすほどの雑誌やチラシが集まりました(ご協力ありがとうございました!)。これだけの素材が集まると、子どもたちのテンションも上がります。お気に入りの素材を見つけて大はしゃぎの子どもたち。



■制作2

制作スタート。素材の中からそれぞれ思い思いのものを選んで切り抜き、画用紙に貼り付けます。ボランティアさんの手を借りつつも、子ども達自身の目線で面白い素材を見つけだしてくれました。そして、え？それそんな使い方すんの？なんてお構いなし！真っ白だった画用紙。見る見るうちに子ども達の自由な発想であふれてゆきます。



■発表

制作終了後、作品のタイトルと自分が表現したかった非現実世界のポイントを発表しました。みんな緊張しながらの発表でしたが、その場にいた一同が「おお～！」となる力作揃い。子どもたちの口からは、作品に表現された多種多様(メルヘンからシュールまで様々な世界観が語られます。正解のない「ヒゲンジツ」世界を表現する楽しさ、味わってもらえたかな？



■完成した作品



■ふり返って

好きな写真を切り取る、集める、配置して貼る。それだけのことなのに、子どもたち一人ひとりの個性を作品から感じることができました。ギャラリートークでは、もっと聞かせてもらいたいほど、みんなから色々な意見が出てきました。制作を通して、美術館の作品に親しみを持ってもらえたら嬉しいです。(橋本学芸員)